

<H30-No26 : 応用測量 (用地) : 問題>

次の文は、公共測量における用地測量について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 公図等転写連続図の作成において、隣接する公図間で境界の線形に相違があったが、公図に記載されている境界をそのまま転写し、接合部を合致させるための調整は行わなかった。
2. 境界と思われる箇所に既設の標識が設置されていたため、関係権利者の立会いは求めず、それを境界点とした。
3. 境界測量のため現地において境界点を測定し、その座標値を求める作業を行うこととしたが、近くに基準点がなかったことから、新たに補助基準点を設置した。
4. 境界点間測量は、境界点の精度確認のために行う作業であり、隣接する境界点間の距離について、全辺の距離を測定する必要がある。
5. 用地測量の成果として、用地実測図データファイルと用地平面図データファイルを作成した。